

解答

一

- 問一 1 規格 2 非情 3 割〔け〕 4 けいだい 5 びんじょう 6 は〔え〕
問二 船底、上手、牧場、上下、宝物 など
問三 1 ウ 2 オ

二

- 問一 障害を持った子と生活している人に対して、何も知らないのに、不用意な発言をしてはいけないという気持ち。
問二 自分に障害を持つ子がいたら、自分が歳をとった時どうなるのだろうかと不安に思ったから。
問三 エ
問四 共感
問五 ウ
問六 エ
問七 イ
問八 1 将来のために現在があると考え、現在を軽視する人間。
2 生の喜びや悲しみを感じる力
問九 回りで起きているさまざまな問題
問十 始め…昨日の小さ 終わり…はあるのだ
問十一 イ

三

- 問一 3 イ 13 ア
問二 7 やけに 8 いきなり
問三 ア
問四 ウ
問五 お金
問六 忙しい母親に甘えたくても甘えられずにいる清孝を、たまに母親と出かける時くらい二人だけにしてやり、思いっきり甘えさせてやりたいと思ったから。
問七 清孝が元気になった様子を見て、ほつとしたから。
問八 ア
問九 ウ
問十 キュウリー夫人の死

解説

二

- 問九 日常の暮らしの中で問題が起こることを「波風が立つ」といいます。

三

- 問十 本文の最初のほうで「けつきよく夫人が女恋湖の花火を見ることは、もう二度となかった」と、夫人がまもなく亡くなることを思わせる描写があります。その後のキュウリー夫人の発言からも、自分が死んでもキヨに強くなってほしいと願う気持ちがかがわれます。